

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2006-205067(P2006-205067A)

【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2005-20872(P2005-20872)

【国際特許分類】

B 01 D 71/44 (2006.01)

B 01 D 69/06 (2006.01)

B 01 D 69/08 (2006.01)

B 01 D 71/34 (2006.01)

B 01 D 71/40 (2006.01)

C 02 F 1/44 (2006.01)

C 02 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 01 D 71/44

B 01 D 69/06

B 01 D 69/08 Z A B

B 01 D 71/34

B 01 D 71/40

C 02 F 1/44 K

C 02 F 3/12 S

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

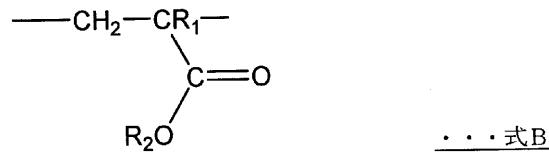
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

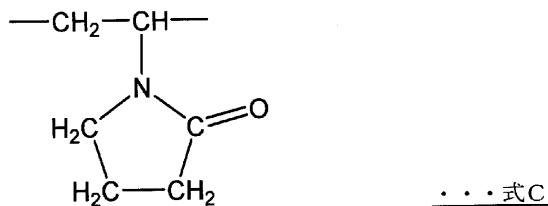
【請求項1】

膜構造中に、下記の式Aの分子ユニット、式Bの分子ユニット、及び、式Cの分子ユニットの3種を含むことを特徴とする多孔質膜。

【化1】



(ここで、R₁は水素又はメチル基を表し、R₂は炭素を1～8個含有する炭素、水素、酸素、窒素から選ばれる少なくとも2種の原子により構成される化学種を表す。)



【請求項1】

ポリフッ化ビニリデン系樹脂と、ポリアクリル酸エステル系樹脂および／またはポリメタクリル酸エステル系樹脂と、ポリビニルピロリドン系樹脂を含んでいることを特徴とする請求項1に記載の多孔質膜。

【請求項2】

ポリフッ化ビニリデン系樹脂と、アクリル酸エステル系单量体および／またはメタクリル酸エステル系单量体とビニルピロリドンを主成分とする共重合体を含んでいることを特徴とする請求項1に記載の多孔質膜。

【請求項3】

有機纖維からなる多孔質基材を有してなる請求項1～3のいずれかに記載の多孔質膜。

【請求項4】

純水透過係数が $1 \times 10^{-9} \text{ m}^3 / \text{m}^2 \cdot \text{Pa} \cdot \text{s}$ 以上である請求項1～4のいずれかに記載の多孔質膜。

【請求項5】

0.10 μm以下の微粒子阻止率が90%以上である請求項1～5のいずれかに記載の多孔質膜。

【請求項6】

請求項1～6のいずれかに記載の多孔質膜を備えた固液分離装置。